



豆の木通信 第3号

2008年 11月発行 てらだ小児科

HP もごらんください

<http://www.genki-kodomo.net>

さくら FM (78.7M Hz) の番組「ドクター教えて」でお話をします。

1. 11月6日(木曜日) 昼13時0分～13時10分
「おたふくかぜと難聴、おたふくかぜのワクチン」
2. 11月13日(木曜日) 昼13時0分～13時10分 「熱性けいれん」
3. 11月20日(木曜日) 昼13時0分～13時10分
「髄膜炎予防の新しいワクチン ヒブワクチン」
4. 11月27日(木曜日) 昼13時0分～13時10分
「MR ワクチン～はしかを防ぐために」

* おたふくかぜ

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は、2～3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て発症し、片側あるいは両側の唾液腺の腫れと痛みを特徴とするウイルス感染症です。通常1～2週間でよくなります。多くの方は軽症ですみませんが、なかには合併症や後遺症の残る人があります。最も多い合併症は髄膜炎で、その他に睾丸炎、卵巣炎、難聴、膵炎などを認める場合があります。

報告患者の年齢は4歳が最も多く、続いて5歳、3歳の順に多く、3～6歳で約60%を占めています。

* 難聴

最近では、後遺症としての難聴が問題になっています。全国で毎年200万人近くがおたふくかぜにかかっています。最近の調査では、難聴になるのは1000人に1人程度といわれています。全国では、600～1000人程度の方が難聴になっていると推測されています。有効な治療法がなく、回復が困難なものです。

* ワクチン

効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。ワクチンの副反応としては、接種後2週間前後に軽度の耳下腺腫脹と微熱がみられることが数%あります。

集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが、有効な感染予防法です。

ワクチンについてのご質問があれば、お気軽にご相談ください。